

2025年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

商学研究科 商学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目

- 注1) 届け出た出題分野の3問中1問を選択し、解答用紙に解答すること。
 2) 解答用紙の所定の欄に、届け出た出題分野および出題番号を明記すること。
 3) 必ず日本語で解答すること。

○ 「経済」分野

1 以下の2つの問いについて解答しなさい。

a. 2期間モデル：シンプルな2期間モデルを考えよう。消費者の2期間の効用関数は、 $u(c_1) + \frac{1}{1+\rho}u(c_2)$ とする。ただし、 c_1 、 c_2 はそれぞれ1期目、2期目の消費、 ρ は割引率 (discount factor) である。また、効用関数は $u' > 0$ 、 $u'' < 0$ を満たす凹関数とする。この消費者は1期目に w_1 だけの所得を受け取り、2期目に w_2 だけの所得を受け取るとする。また、消費者は貯蓄をした場合、 r だけの金利がつくとする。すなわち、貯蓄額を s としたときに、1期目の予算制約は $c_1 + s \leq w$ 、2期目の予算制約は $c_2 \leq w_2 + (1+r)s$ である。

i. 生涯予算制約を導出しなさい。

ii. ラグランジェアンを設定して、制約付き最大化問題から、オイラー方程式を導出しなさい。

iii. 借り入れ制約 $s \geq 0$ が存在するとする。この制約がバインドする条件を図及び数式から説明しなさい。

b. フォワードガイダンス：ニューケインジアンモデルに基づいて、フォワードガイダンス (あるいは時間軸政策) について説明しなさい。モデルを設定する際のノートーションについては、自由に導入して良い。

2 以下のすべての問いに答えなさい。

a. 2人の消費者 $i=A, B$ 、および2つの財 x, y からなる交換経済を考える。消費者 i の効用関数が $u_i = x_i y_i$ (x_i, y_i : 消費者 i の x 財および y 財の消費量) であるとする。

(1) パレート効率的な配分を計算し、エッジワース・ボックスを描き、契約曲線を図示しなさい。

(2) 消費者 A, B の初期保有量がそれぞれ、 $e^A=(4,3)$ 、 $e^B=(6,3)$ で与えられている。このとき、競争均衡における価格比と各消費者の最適消費量を求めなさい。

(3) (2)の解答をもとに、消費者間でどのような取引が行われたのか説明しなさい。

b. 同質財を生産する2企業が存在し、価格競争を行っている。両企業の限界費用は等しく c である。この市場では、より低い価格を設定した企業が需要を残らず獲得し、同じ価格の場合、需要が折半される。

(1) ナッシュ均衡を求めなさい。

(2) (1)で解答した価格以外に、ナッシュ均衡がないことを示しなさい。

3 消費 C を従属変数、所得 Y を独立変数とし、 u を誤差項、 α と β をパラメータとして、消費を決める回帰式

$$C = \alpha + \beta Y + u$$

に OLS (通常最小二乗法) を適用することを想定する。このとき、 β を正しく推定できない可能性について以下のすべての問いに答えなさい。必要に応じて回帰式を変形して解説すること。

a. 「逆の因果」のあるケースでは β を正しく推定できない理由を説明しなさい。b. 「除外変数」のあるケースでは β を正しく推定できない理由を説明しなさい。c. 「測定誤差」のあるケースでは β を正しく推定できない理由を説明しなさい。d. β を正しく推定できない可能性について上記 a~c に共通する計量経済学的な問題は何か。簡潔に説明しなさい。

○ 「流通・マーケティング・交通」分野

- 1 まず、(1)AIDMA のプロセスを説明しなさい。次に、(2)インターネットが普及した後に登場した新しい消費者購買行動プロセスを説明しなさい。そして、(3)両者の類似点と相違点を説明しなさい。
- 2 小売商業集積に関して、(1)計画的 SC (ショッピングセンター) の特性を商店街と対比しながら説明してください。続いて(2)商圏規模によって計画的 SC を分類し、各々のタイプについて説明してください。そして(3)近年、注目されるパワーセンターとライフスタイル・センターについて各々、その特性を説明してください。
- 3 具体的事例をあげながら、交通市場における外部補助と内部補助の概要及び実施にあたって、それぞれの欠点について具体的に論じなさい。

○ 「経営・情報」分野

- 1 ビジネスにおけるデータ分析や研究において統計的仮説検定がしばしば行われますが、その際 p 値 (p value) を参照するのが一般的です。回帰分析を例として、p 値は統計理論上どのような意味を持ち、どのように利用されるべきかについて述べて下さい。そのとき、以下の語句について解説することが望まれます：帰無仮説、棄却域、有意水準、両側/片側検定、t 分布/F 分布、第一種/第二種の誤差。次いで、最近話題になっている p ハッキング (p hacking) と呼ばれる問題について具体的に解説し、特に研究の観点から、何が問題でどう対処すべきかについて述べて下さい。
- 2 日本企業では米国企業に比較して詳細な職務分析の必要性を低く認識する傾向があるが、それはなぜかについて複数の要因を指摘した上で、詳細な職務分析を行わないことによる利点と欠点について論じなさい。
- 3 経済産業省は、人的資本経営を通じて、人材の価値を最大限に引き出し、中長期的な企業価値の向上につなげることを日本企業に求めている。そのために、企業のパーパスに基づき、従業員のエンゲージメントを高めることが必要であるとしている。「企業のパーパス」、「従業員のエンゲージメント」の意味する事柄を簡潔に示した上で、人的資本経営において、企業のパーパスに基づいて従業員のエンゲージメントを高める必要がある理由について述べて下さい。

○ 「会計」分野

- 1 Malmi and Brown (2008) が "Management Control Systems as a Package" *Management Accounting Research* において論じている「パッケージとしての MCS (マネジメント・コントロールシステム)」とはどのようなものか、またその特徴についても説明しなさい。
- 2 サステナビリティは重要な課題となっています。会計がサステナビリティの課題にどのように取り組むべきかについて、会計の目的、会計の対象、会計の役割、会計の手法及び会計制度などの側面から論じてください。
- 3 社債発行費について、一括して費用計上する方法と、繰延資産としたうえで利息法あるいは定額法で償却して費用配分する方法が考えられる。そのうち、社債発行費を繰延資産とする場合、利息法での配分が原則となっているが、なぜこのような考え方がとられているか、資金調達の見点から理由・立場を説明しなさい。

○ 「金融・証券・保険」分野

- 1 貨幣・通貨に関連して、(1)貨幣の価値尺度機能、(2)貨幣の交換機能、(3)貨幣の価値貯蔵機能、(4)中央銀行デジタル通貨と仮想通貨 (ビットコインなど) の共通点と相違点、をそれぞれ説明しなさい。
- 2 企業の資本構成に関する MM 理論の第 1 命題、第 2 命題、修正第 1 命題、修正第 2 命題、および、トレード・オフ理論の 5 つについて、詳しく説明しなさい。説明においては、文章だけでなく数式・図・例を用いてもよい。
- 3 「逆ザヤ」という用語を説明した上で、1990 年代から 2000 年代にかけて、日本の生命保険会社が破綻した理由と破綻した生命保険会社がどのように処理されたのか、説明してください。また、「逆ザヤ」が生じた当時の金融政策などの経済的な状況についても説明してください。

○ 「貿易」分野

- 1 貿易取引で使用される船荷証券 (Bill of Lading, B/L) のもつ特質を説明し、同証券が約上品の権限移転にどのように関連しているかを論じなさい。
- 2 世界貿易機関 (WTO) 体制の今日的意義とその限界についてまとめたうえで、今後の展望について論述しなさい。
- 3 ハーバード流交渉術において感情の問題をどう処理するかについて論じなさい。